



# 10月 保健だよ!

9月は、流行性角結膜炎(はやり目)・咽頭結膜炎(プール熱)・突発性発疹・発熱でのお休みがありました朝夕涼しくなり体調を崩しやすい季節です。健康管理をしっかりしたいですね。

★玄関のボードに「登園してはいけない病気」での欠席状況を貼り出しています。登園、降園の際にご確認ください。

★後期の尿検査は11月15日に行います。

H30.9.28 幸輪保育園

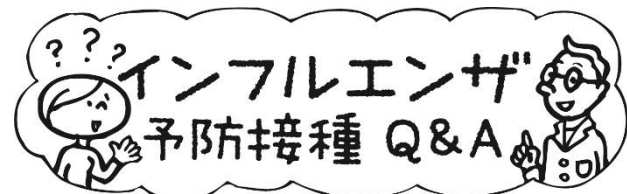


## 内科健診・歯科健診お知らせ

★10月30日(火) 13:00～ 内科健診

11月7日(水) 13:00～ 歯科検診

保育園で受けられなかった場合は、後日囑託医(丸岡小児科・あまの歯科)で受診してください。



かぜよりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。0、1、2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

Q 去年インフルエンザの予防接種を受けたので、今年は受けなくてよい?

A 原因になるウイルスには、主にA型、B型、C型の3つがあり、年によって流行する型が違います。A型B型がよく流行しますが、毎年予防接種を受けることで、効果が期待できます。

Q 受けるとインフルエンザにかからないの?

A 必ず発病を防げるというものではありませんが、かかっても重症化したり、合併症を起こしたりするリスクを減らすことができます。

Q 予防接種の効果が続く期間は?

A 接種後、効果が現れるまでに約2週間かかり、その後半年くらいは持続します。

Q 接種の方法は?

A 生後6か月から受けられます。大人は1回接種、13歳以下の子どもは2回接種が必要。1回目の接種の後、2～4週間あけて2回目を接種します。ただし卵アレルギーがある子は、医師と相談しましょう。

Q いつごろ受けたほうがよいの?

A 最も患者数が増えるのは1月～2月ですが、流行は12月ごろから始まります。それまでに免疫をつけておきたいので、1回目は10月後半ごろ、2回目は2～4週間後に接種しましょう。

## 目の病気がはやってます

目の症状が気になったら、こんな病気かも!?  
どちらもアデノウイルスによる感染症です。感染力が強いので注意が必要。早めに受診しましょう。

### プール熱

- 症状 ● 発熱(38℃以上)  
● のどの痛み  
● 目の充血  
● 目やに、涙  
※熱は3～5日続く

### 流行性角結膜炎

- 症状 ● 目の充血  
● 目やに  
● まぶたのはれ  
※ひどくなると発熱や下痢を伴うことも

- 対処療法が中心。のどごしがよい食事にする  
● 水分補給をして脱水予防を

- 処方された目薬などを使う  
● タオルなどの共有をしない  
● 汚れた手で目をこすらない。よく手を洗う

※どちらも、登園には医師が記入した意見書が必要になります。



## 10月10日は目の愛護デー

生まれたときは明暗を感じる程度の子どもの視力が、大人並みの1.0くらいになるのが、6歳ごろと言われます。子どもは視力に異常が生じて、自分で症状を訴えることは難しいこと。気になる様子が見られたら、眼科を受診しましょう。

### こんなときは心配です

- 目を細めて見る ● 片目で見ると
- 顔を傾けて見る ● まぶしがると
- いつも涙ぐんでいる
- まぶたが下がっている

